

今夏の

節電にご協力ください

＝住民環境課＝

本町では、地球温暖化対策の一環として省エネルギーを推進しています。

また、今夏においては、東日本大震災の影響により、全国的に電力供給能力の低下が予想されることから、国や電力会社は、節電を求めています。

住民、企業の皆様におかれましては、一日を通じた節電を心掛けていただくとともに、電力の需要量が大きくなる7月から9月にかけての平日9時から20時の期間・時間帯は、特に節電に取り組んでいただきますようご協力をお願いいたします。

下表のとおり、夏の家庭の消費電力の半分はエアコンが占めているといわれています。室内を2℃上げた場合は10%、無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を利用すると50%の節電が見込まれます。

無理な節電により体調を崩さないよう、過度の負担にならない範囲での取り組みをお願いします。

節電の基礎知識

●どんな電気製品を使っている？

夏の日中（14時頃）には、在宅世帯は平均で約1,200Wの電力を消費しており、そのうちエアコンが約半分を占めています。外出中の世帯でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約340Wの電力を消費しています。

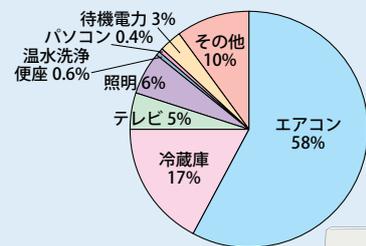
●主な電気製品の消費電力について

家庭には1,000Wを上回る電気製品がたくさんあります。

消費電力の大きい電気製品は、平日の日中（9時～20時）を避けて使しましょう。

温水洗浄便座、電気ポット、食器洗い乾燥機、オーブトースター、掃除機、ドライヤー、洗濯乾燥機（乾燥）、浴室乾燥機、ジャー炊飯器、電子レンジ、アイロン、IHクッキングヒーター等

【夏の日中（14時頃）の消費電力（全世帯平均）】



エアコンの節電が重要です



出典：資源エネルギー庁推計

家庭での節電メニュー		節電効果
エアコン	室内を28℃にする。（+2℃の場合）	10%
	“すだれ”や“よしず”などで窓から日差しを和らげる。	10%
	無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。	50%
冷蔵庫	設定温度を『強』から『中』に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。（食品の傷みにご注意ください）	2%
照明	日中は不要な照明を消す。	5%
テレビ	省エネモードに設定する。 画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。	2%
温水洗浄便座	温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。 上記の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを抜く。	いずれかで 1%未満
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	2%
待機電力	リモコンの電源でなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	2%